

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

オバマ米大統領の核廃絶の呼びかけに応え 核保有国に核廃絶を求めよと質問

第2回定例会

1985年以来、非核平和都市品川宣言をしている品川区は、全国組織を脱退して未臨界核実験は核実験ではないとして抗議をしません。すべての核兵器廃絶の立場にしっかりと立つよう求め質問しました。

オバマ演説は世界の流れを変える画期的内容

志位委員長が歓迎と伝える

「核兵器を使用した唯一の核保有国として、米国には行動すべき道義的責任がある」
「米国は核兵器のない平和で安全な世界を追求していくことを明確に宣言する」と、オバマ大統領の演説は世界を驚かす(いい意味で)画期的な内容でした。

日本共産党の志位委員長はこの演説を聴いて、大統領宛てに書簡を送りました。その内容は、大統領としての公式発言は人類にとっても被爆国の国民にとっても歴史的意義を持つもので、心から歓迎するといふものです。世界中から歓迎する声があがったのは当然です。

この変化をどう見るとか質問すると、区長は、「大きな意義がある。品川区の立場は

プラハ演説の趣旨と同じものである」と答弁。

未臨界核実験について
区は包括的核実験違反ではないに固執

ところが区は、10年ほど前から未臨界核実験は核実験ではないとの立場に固執。世界の核実験に抗議をしてきましたが、未臨界核実験には一切講義をしなくなりました。

答弁を紹介すると、「臨界前核実験については、現実的には物理実験であり、核爆発は伴わないことから、包括的核実験禁止条約(CTBT)との関係で見解が分かれており、抗議は見送っているところでございます。」と、政府の「核の傘」論に組んでいます。

また、問題はそれだけでなく、物理実験で意見が分かれているからとの理由で、全国組織の日本非核宣言自治体協

議会を脱退してしまいました。その後は、品川区独自の取り組みをしていくとして、中学2年生を広島・長崎に派遣したり、3月26日に区のイベントを開催していますが、大事なことは、自治体として国に縛られない立場で世論をつくる先頭に立つべきです。国の主張に組するのではいつまでも核兵器廃絶は実行されません。24年前に制定した「非核平和都市品川宣言」の内容にも反する態度で残念です。プラハ演説と同じというならどのような核実験にも反対を貫くべきです。

(裏面に非核平和都市宣言を掲載)



非核平和都市品川宣言

制定 1985年3月26日

今、この地球に、
人類は自らを滅ぼして余りある核兵器を蓄えた。
いまだかつて、
開発された兵器で
使われなかったものはない。
これは、
歴史の恐るべき証明である。

一刻も早く、核兵器をなくさなければならない。
頭上に核の閃光がひらめく前に。
遅すぎたとき、それを悔やむだけの未来すら、われわれには残されていない。

品川区は、核兵器廃絶と恒久平和確立の悲願を込めて、ここに非核平和都市を宣言し、全世界に訴える。

われわれは、いかなる国であれ、いかなる理由であれ、核兵器の製造、配備、持ち込みを認めない。

持てる国は、即時に核兵器を捨てよと。

このかけがえのない美しい地球と、そこに住む生きとし生けるものを、守り伝えるために。

お知らせコーナー

自然エネルギーを暮らしに取り入れたい

太陽エネルギー見本市

7月25～26日

7月27～29日

しながわ中央公園

区役所第2庁舎3階ロビー

環境情報活動センター

生活・雇用・子そだて

教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523